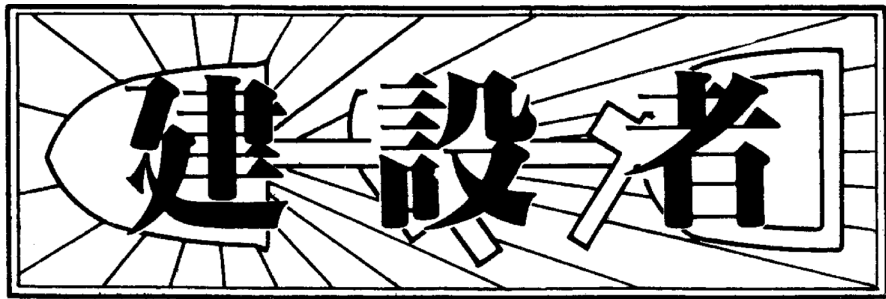


今月の葛飾組織現勢	
2016年8月1日	4,595人
加入	24人
転入	0人
脱退	43人
転出	2人
2016年9月1日現在	4,574人



東京土建一般労働組合
葛飾支部
〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
電話 (5698) 1 2 6 1
FAX (5698) 1 2 6 2
発行人 大山 艶子



→上棟式。お餅の代わりにお菓子をまきました。
↑完成。建てた職人さん全員集合で、記念写真。

建て方・上棟式・解体までを一日で 匠の持つ伝統の技で魅せる

東京都主催 ものづくり 匠の技の祭典

思わず立ち止まって
技に見入る来場者

8月10日(水)から12日(金)の3日間、東京国際フォーラムで『ものづくり 匠の技の祭典』が開催された。これは東京都などが主催し、日本各地の古くから受け継がれてきた匠の技や伝統工芸、最先端のものづくりの技術を集め、展示・販売、体験できるイベントである。

全体は「食」「工」「暮」「建」「衣」のテーマに別れ、それぞれの技術が展示されている。それ以外にも、「日本各地のWAZAMARU」として、各地から集められた伝統工芸などが展示販売されていた。

その中で「建」のエリアに、全建総連が出展しており、技術研修センターが中心となっ



完成まであと少し。

て技を披露していた。会場内にあるステージに次ぐ広さのスペースが用意され、建て方から上棟式、解体までを一日で行う。本来はいけないのだが、今回は特別に許可をもらい、職人らしい服装で参加。ヘルメットや安全帯はなく、直足袋で軽々と行き来する姿

は、多くの人が思い描く職人の姿であった。

技術センターの卒業生とともに

この総監督を行い、来場者向けに解説をしていたのが、葛飾支部の技術対策部長である片岡茂樹さんだ。

技術センターの卒業生とともに、匠の技を見せてくれた。

11時より、建て方が始まるのだが、それまでは木材が置いてあるだけだ。これらをお餅の代わりにお菓子をまきました。↑完成。建てた職人さん全員集合で、記念写真。

伝統構法の「軸組構法」で建てているため、釘は使用しない。使っても、仮止めくらいだ。木造の家を建てる場所を見る機会など、最近

はめったにない。多く

土建国保を守る

8月12日
(金)、細貝社会保障対策部長・滝沢書記長・丸山書記長・丸山書記長・丸山書記長
議員要請とハガキ要請
の訪問を行いました。



助現行水準確保③建設国保の育成強化のお願いを。都議会議員へは、①都費補助金現行水準確保②生活習慣病予防対策事業やアスベスト疾患を含むがん対策事業への財政支援拡充③建設国保の育成強化の要望事項を説明して、賛同署名をお願いしました。

残念ながら、ご本人は不在で、秘書の方とお話をしました。

9月からは東京都の予算獲得のための要請ハガキの取り組みが始まります。一人1シート、ハガキ4枚の記入にご協力をお願いします。

ちなみに今回使用した木材は全て多摩産材。パンフレットや多摩産材のマグネットを配り、PRも行った。

作って楽しい 工作も開催

隣では、子供向けの工作教室も行われていた。釘を使わないミニチュアカーとミニチュアの道具箱を作る。ミニチュアカーは出来上がったものを走らせるちょっとしたコーナーも用意。出来上がった車を走らせて、子どもたちは楽しそうであった。

会場内にはたくさん催し物もあり、一日楽しめるようになってきている。ものづくりの技術を知り、実際に体験する。触れることで、技術の継承者が増え、長く受け継がれるよう願っている。

寅さん

今回のリオ五輪では、日本は金メダル12個、銀メダル8個、銅メダル21個と合計41個のメダルを獲得した。この獲得数は過去最高の結果で、国別の獲得数ランキングだと6位である。

それぞれの選手が全力を出し、大活躍を見せてくれた。懸命なその姿に、思わず見入って観戦する人も多かったことだろう。

話題になったのは、競技だけでなく、閉会式で行われた日本のショーもだ。海外でも有名なアニメのキャラクターや選手たちを登場させて、日本らしさをアピールしている。締めには安倍首相扮するマリオが登場し、安倍マリオとして、国内外を大いににぎわせた。

そうした首相の関与を、小池百合子都知事が、「国が積極的に関与して下さる意思表示ではないかと受け取った次第」と皮肉を言っていた。東京五輪の予算は2800億円と計画段階から約4倍に膨らんだ。大会組織委員会は東京都も負担を求めている。

競技場、エンブレム、予算とさまざまな問題を抱えている。オリンピックは国際的なスポーツの祭典であり、開催における不安や問題は日本だけのものではない。

国と東京都が互いけん制しあうのはやめ、早々に手を取って協力してほしいものがある。4年後には、素晴らしいオリンピックだったと誰もが笑顔で終えられるように尽力して欲しい。

秋の拡大に向けて

支部活動者会議

8月28日(日)、ウイメンズパルで葛飾支部の活動者会議が行われ、119人が参加しました。例年利用しているのとは違う会場だったため、いつもよりごじんまりとじていました。

及川常任の開会のあいさつから始まり、益子副委員長が議長となって進行していきました。本部の島原常任専門委員と北川書記次長が来賓として来ていました。

情勢を学ぶ

運動へ繋げる

午前は本部の北川書記次長より、『情勢及び秋の運動の重点』というテーマでの講演がありました。現在国保を担当しており、社会保障制度に重点を置いた話でした。現在行っているハガキ要請の重要性、TTPPによる社会保障制度の影響や医療制度をめぐる

現在の状況などを判りやすく話してくれました。

お昼休憩を挟み、午後は2014年12月に発足したリフォームパートナー協議会(リカコ)についての話からでした。この団体は、2016年2月に国土交通省のリフォーム事業者登録団体に登録された団体である。

リフォーム工事でのトラブルが相次ぎ、国が認めたリフォーム事業者団体の会員を消費者が選べるようにと制度が作られました。国交省の登録団体の会員とそうでない事業者とどちらを選ぶかといえは、前者を選ぶ人が多いでしょう。実際、登録団体の事業者なら安心だからと仕事に繋がった事例がありました。

加入すると、営業マネーやクレームへの対応についてなどを学ぶ義務講習を受けてもらいます。また、リフォーム保険料や建材の購入費などが安くなる特典もあります。

リフォーム工事を請け負う事業者はぜひ加入してほしいということでした。

その後は、滝沢書記長から支部大会後の経過を、土屋副委員長より秋の拡大について話がありました。今年4月の支部大会で提案された分会再編については、2017年3月までとなっているので地域ごとに話し合いを進めて欲しいということです。

最後は、分会活動経験の報告を本田分会、細田高砂分会、飯塚分会からもらいました。本田分会からは、分会の運営について、行ってきた内容や分会の体制などを話してもらいました。拡大では組合制度についての独自の案内を作り、配っているそうです。そうした行動の成果は、徐々に現れているということでした。

経験を知り、生かしていく

その後は、9月より始まる地震共済制度についての話を及川厚生文化部長と担当の小久保書記から補償内容などの説明がありました。



みなさん真剣に聞いていました

質疑応答で、「今回は原水禁大会の参加者からの報告はないのか」という質問がありました。そのため、急きょ休憩を挟んだ後報告をしてもらうことに。参加した阿久津副委員長、大山常任執行委員、森書記よりそれぞれの感想を述べてもらいました。

の運営のやり方が違うためしっかりとすり合わせを行って来たことや、分会再編に伴う群の見直しなど、今後再編を行っていく上で、参考になりました。

秋の拡大月間

対話を中心に

日常・秋の拡大 成果表

	1/1 人員 基準	年間 目標	1~3月 春一番 結果		4・5月 春の拡大 結果		6~8月 日常拡大 目標 結果		9/1付 人員	1月比 増減	秋月間 (3.5%)	
			目標	結果	目標	結果	目標	到達				
新小岩	111	14	6	5	2	3	106	-5	4			
西新小岩	123	15	2	4	3		122	-1	4			
東新小岩	291	35	10	10	6	3	294	3	10			
奥戸	423	50	14	15	8	7	415	-8	15			
本田	218	27	7	11	4	3	220	2	8	1		
立石	121	14	0	4	2		113	-8	4			
青戸	223	27	12	8	4	4	219	-4	8			
お花茶屋	173	22	6	7	3	3	176	3	6			
堀切	311	34	2	9	6	4	298	-13	11			
二葉	222	27	2	12	5		220	-2	8			
西亀有②	91	12	6	3	2	2	98	7	3			
亀有	278	31	0	5	6	2	260	-18	10			
細田高砂	374	46	2	13	8	2	364	-10	13			
柴又	224	28	3	8	5	4	212	-12	8			
新宿	135	18	0	5	2	1	127	-8	5			
金町	136	18	2	5	2		128	-8	5			
東金町	116	14	0	4	2		110	-6	4			
東水元	211	25	2	7	4	5	202	-9	7			
北水元	203	25	7	7	4	6	220	17	7			
幸田	252	31	6	9	5	4	255	3	9			
飯塚	212	25	16	8	4	3	223	11	7			
その他	183	24	10	15	6	7	192	9	7			
調整数	10	9	3	5								
合計	4641	571	118	179	93	63	4574	-58	163	1		

でお話をしましょう。

行動日と

BBQ交流会

- 拡大行動日 日程
- 第1次行動 9月13・14日
- 第2次行動 9月21日
- 第3次行動 9月27・28日
- 第4次行動 10月5・6日
- 第5次行動 10月13・14日
- 第6次行動 10月18・19日
- 第7次行動 10月25・26日

※※※

拡大中間決起BBQ交流会
日時：9月25日(日)
11時～(14時終了)

場所：葛飾支部会館

ご参加お待ちしております。人数制限はありません。事前の申込みも不要ですので、気軽にご参加ください。

拡大の鍵は仲間との対話から。色々な話をする中で、共済や健康保険について案内がきたり、加入者の情報が届いたりします。仲間同士の繋がりも深まります。

拡大の鍵は 対話にあり

ただいま、秋の拡大月間中です。10月までの2ヶ月間、仲間を増やす取り組みを行っています。みなさんの周りに建設業でお仕事をしているけれど、まだ組合に入っていないという方がいたら、ぜひご紹介ください。

葛飾支部の目標は、1月の組織人員の3・5%である163人。所属の分会の目標は別表の通りです。

9月2日に拡大出陣式を葛飾支部で行い、拡大月間が本格的にスタートしました。

対話が出来ると、今回は中間決起集会も工夫していました。夜間に葛飾支部で行っていましたが、今回は日曜日の昼間にBBQ交流会を行います。普段なかなか交流のない人も楽しく食べて飲んで

ください。

原水爆禁止世界大会 in 広島

どうする？ 後世への継承

8月4から6日まで、広島県で原水爆禁止2016年世界大会が広島県で行われました。葛飾支部からは、阿久津副委員長、大山常任執行委員、森書記が参加しました。みなさんには、6月と7月に行った募金にご協力いただき、ありがとうございました。



大山さん

道は遠くても…

【常任執行委員 大山艶子 (本田分会)】
原爆投下から71年が経過、被爆者の平均年齢が80歳をこえ、あの惨状の記憶を語り継ぐ人さえ少なくなってきました。いまだに、広島は1,000



原爆ドームを背に人で記念撮影。右から阿久津さん、森さん、大山さん

0倍という威力の核兵器が世界中に15,000発以上あります。そんな中、今年5月に一時間ほどでしたが、米国の現職大統領が広島原爆資料館に立ち寄り原爆慰霊碑で献花しスピーチをおこなった事は画期的なことでした。一気に関心が高まり広島原爆資料館などを訪れる外国人観光客も含め激増し、核廃絶に向けて少しずつでも歩めればと期待されていました。

でも、終戦記念日の15日、米ワシントン・ポスト紙にオバマ大統領が検討している核兵器の先制不使用政策に、安倍首相は「北朝鮮に対する抑止力が弱体化する」という趣旨を伝えたというのです。先制不使用政策は米国の核政策を大きく転換させるもので「核なき世界」を掲げるオバマ氏の象徴的な政策になると見られていました。だがこの政策は韓国や欧州の同盟国や国務長官など閣僚の中にも反対の声が上がり、実現は不透明だと報じています。

分科会で報告された、福島から避難者の健康不安・貧困・差別の現状や、活断層が走

知っているようで知らないこと



阿久津さん

り地震の起こる確率が高く、ひとたび事故がおきれば道路が遮断され逃げ場を失う危険な「伊方原発」は再稼働が決まりました。原子力の難しさが浮き彫りとなっています。2度目の広島訪問で、10年ほど前は福島の原発事故以前でしたがますます深刻化しています。「被爆国」として声をあげ続けていくのは、思いを強くしました。

原発も戦争も怖いもの



森さん

【書記・森淑彦】

今回初めて原水爆禁止世界大会に参加させて頂きました。初日の開会式で体育館に集まった多くの人たちを見て、大事な大会に参加しているのだと気持ちが引き締まりました。

二日目は分科会がありました。私は「核兵器と原発」に参加しました。まず初めにご家族が原爆の被害を受けた方から当時の様子を聞きまし

【支部常任執行委員・阿久津正 (奥戸分会)】

今回初めて原水爆禁止世界大会に参加させて頂きました。平和記念式典はテレビで見ましたが、やはり臨場感が違いました。

8月6日、8時15分。一瞬のうちに13万人の人が命を奪われ、広島の人々の怒りや悲しみはどれほどだったでしょう。

同じ日本人として、どれだけわかっていったか。深く反省します。

式典後の献水式では、広島・長崎ばかりでなく全国に行かれた被爆者の方の思いが伝わり、いい経験になりました。黙っていても、核廃絶は実現しないと思います。

ひとりのひとりが声を上げ続けて、戦後71年経ちました。被爆者は平均年齢が80歳を越えて、原爆の被爆体験を伝えるのは難しくなってきました。若い人たちに引き継いでもらえるまで頑張ってください。各国のリーダーは一人でも多く被爆地である「広島」「長崎」に足を運んでいただき、惨状を知ってもらいたいと思います。

青戸平和公園に、広島市の御幸橋の縁石・長崎市の焼け焦げた門柱のレンガがあることを、初めて知りました。今回体験したことや感じたことは、家族や孫にも教えるつもりです。



献水式にも参加しました

た。例えば、「帽子を被っていた人は被っていたところだけ髪の毛が残り、そこ以外は抜け落ちてしまった」や、「着ていた服の模様が体に移ってしまった」など、核兵器の悲惨さがひしひしと伝わってきました。

次に現在稼働している原発の危険性について説明がありました。愛媛県にある伊方原

発を引き合いに出し、もし伊方原発が福島原発のようなダメージを受けたら、一週間で四ミリシーベルトの放射線が漏れるそうです。放射線の基準と言うのが一年間に一ミリシーベルトなので一週間で年間値の四倍の放射能が漏れることとなります。

最悪の場合、福島の被害の一万倍の規模の被害が出る

共済推進月間

地震共済が9月よりスタート

9月より、秋の共済推進月間が始まります。みなさんも更新を迎える火災保険がありましたら、ちょっと比べてみませんか。

木造住宅は年間3,000円で鉄筋住宅は年間1,500円で500万円の保障。保障金額は変更できますので、ご相談ください。

また、月間中(9月11日)に加入し口座登録すると、500円のクオカードをプレゼント。新たに9月より地震共済がスタートしました。地震に対する備えも欲しいという要望に応え、新しく制度

を作りました。こちらは火災共済となりますので、セットでの加入が必要です。火災共済にすでに入っている方は、地震共済をこれからつけることも出来ます。ただし、ご利用に当たっては口座振替が必要となります。ご注意ください。

加入者へキャンペーンも実施しています。応募用紙に記入するだけで、ご応募をお待ちしています。

興味のある方、詳細を知りたい方は、パンフレットをご覧ください。お見積もりなどもお気軽に葛飾支部へお問合せください。

支給区分	地震共済の給付内容	
	1口あたりの共済金	保障限度(最高口数)
全壊	50,000円	1,000万円(建物200口) 家財(40口)
大規模半壊	25,000円	500万円 100万円
半壊	15,000円	300万円 60万円
一部壊・その他	1,500円	30万円 6万円

火災共済加入口数	地震共済加入限度口数	地震共済(全壊時最大保障額)		火災共済・地震共済合計掛金(うち、地震共済掛金)	
		建物	家財	木造(非耐火)	鉄筋(耐火)
50	50	50	450万円	20,850円(14,850円)	12,000円(9,000円)
100	100	100	700万円	35,100円(23,100円)	20,000円(14,000円)
150	150	150	950万円	49,350円(31,350円)	28,000円(19,000円)
200	200	200	1200万円	63,600円(39,600円)	36,000円(24,000円)
400	200	200		75,600円(39,600円)	42,000円(24,000円)

うです。福島の原発事故でも、避難者や除染作業などで大変なことになっている中、もし最悪の事態になったらどう思うか不安を感じずにはいられません。

三日目には平和祈念式典や葛飾献水式、最後に閉会式がありました。平和祈念式典は、改めて思いました。

安全衛生大会

事故を防ぐには……

8月29日(月)、19時半より葛飾支部で安全衛生大会を行いました。講師には、向島労働基準監督署安全衛生課長の松本薫さんに来てもらいました。48人が参加し、労災事故の状況と防止について話を聞きました。

建設業における労災事故は他業種に比べ多いです。しかし、前年と比較すると事故の件数は少なくなっており、安全への意識の高まりだと話していました。

話の中心は「墜落事故」と「熱中症」についてでした。墜落については、安全な作業の方法や保護員の必要性な



松本 薫さん

ど、説明を受けました。ハーネス型安全帯は着脱に手間が掛かるが、高所作業時は使用して欲しいとのことでした。また、墜落は脚立からというのも多いそうです。机や脚立というのは、墜落したときに頭を打ち付けやすい高さなのだから、建設業に限らず、脚立や机からの墜落は多いので、注意が必要です。外での作業が多い建設業で

は熱中症の発症が多いです。けれど、しっかりと対処しているのも、建設業なのだそうです。熱中症になりやすい環境だからこそ、特に気をつけているようです。

しっかりと栄養と睡眠をとって、体調を整えてから現場に入ることや、おかしいと感じたら安静にしたり、水分を取ったり早めの処置をするといった対策を聞ききました。水分もお茶ではなく、水などカフェインの入っていないものがオススメです。松本さんは、夏は麦茶を愛飲しているそうです。また、同じ現場で作業する人の様子にも気をつけて欲

気が心配でしたが、当日は晴れ。暑い夏の水遊びは楽しいものです。日陰に用意したプールで、子供たちは元気に水遊びを楽しんでいました。お父さん、お母さんは日陰で座りながら、プールではしゃぐ子どもたちのそばで楽しくおしゃべり。

水遊びは楽しい

青年部 夏レク



水着持参で、楽しく水遊び。ゴーグルだって準備してます

8月21日に青年部主催で夏レクを行いました。場所は支部会館の1階のスペースを利用しました。参加者は大人7名、子供5名、合計12名でした。台風が近づいているということから天

子どもたちのそばで楽しくおしゃべり。食べ物も準備ができています。食パン、フルーツ、アイス、焼きそば、カレーなど、焼きうどんを用意。どれも好評でした。どれも好評でした。一番人気は、イカ焼き。しっかりと味が染み込んでいて、子供も大人も美味しそうに頬張っていました。



事故内容を聞きながら、傾く人もいました

準監督署にも情報が寄せられています。その場合には、該当の現場を調査します。適切な労災の使い方がされていない場合には、きちんと指導をしているので、労災隠しかもしれないと思ったら教えてください。後藤委員長からは、作業を行う人の服装についてでした。高所作業をしない警備員まで安全帯をつけていることがあり、熱中症にかかりやすい服装です。作業に合わせた服装指導をしてもらえないかという要望です。

しいということでした。熱中症の自覚がない人も多いそうなので、お互い気にかけておくことで早めに対処することができそうです。

質疑では、土屋副委員長から労災隠しは犯罪だというのが、いまだに労災隠しは行われている。どうしたらよいのかと質問がありました。労災隠しについては労働基

労基署から服装について聞いてみるが、現場からもぜひ服装について聞いてもらいたいとのことでした。事故を起こさないための確認、必要な保護員を利用する大切さを感じました。

楽しい思い出

夏休み工作教室



慎重に鋸を動かして

小学生のお子さんがある家庭では、夏休みの宿題はちょっと困りもの。夏休みの最後まで残って前日まで取り組んでいた。なんてこともありそうです。

そんな夏休みの宿題のお手伝いも兼ねて、各地域で行われた工作教室。どの会場も楽しそうなお子さんの笑顔でいっぱいでした。

家族みんなで笑顔に

【教宣】小林 総一郎(細田高砂) 8月7日、高砂団地南公園

「高砂団地子供まつり」があり、工作教室を行った。都知事選挙投票日に重なり一週間遅れの開催だった。シートを公園の立ち木に張り巡らして日除けが完成。今年は細田との再編で若手も参加してくれました。スムーズに日除けも完成。9時半に開会。机の上に材料を載せて待機。本立て、プランター、銅板と定番の工作。子どもたちが材料を抱えて作業場に来て開始だ。本立て、プランター造りに鋸の上手な四年生の女の子、トンカチを振り上げ危ない二年生の女の子、じいちゃん銅板をたたく一年生の男の子、本立てが完成し、喜んで付いた盛りだくさんの盛況だった。工作に参加してくださった方々、一日本当にお疲れさまでした。

「マイブーム」

×は「鯛茶漬け」

ぜひ、連載企画を1つというので、以前行っていたマイブームを復活。

みなさんが今はまっていることを掲載させていただきます。あなたのところにも取材へ行くかも…。そのときはぜひご協力を。今はまっているものがあれば、ぜひ取材させて下さい。



×の鯛茶漬け一杯いかが？

のあとに小さなお茶碗で、少しだけいただくのがサイコーです。(本田分會 大山艶子)

しばらく前から、たまたま和食のコースで最後の食事にて「鯛茶漬け」にすっからはまっています。

最近は結構人気で、お店の人気看板メニューになったり、行列のできる店さえあります。友人を誘って「え、お茶漬け？」と反応はいまひとつです。それなら、家で

庭でも試してみたものはいまひとつで鯛は刺身のほうがいいと夫に言われる始末です。

仕方がないので、鯛の産地をネット検索してせめてお気に入りを探そうと、もっぱら「お取り寄せ」でガマン。